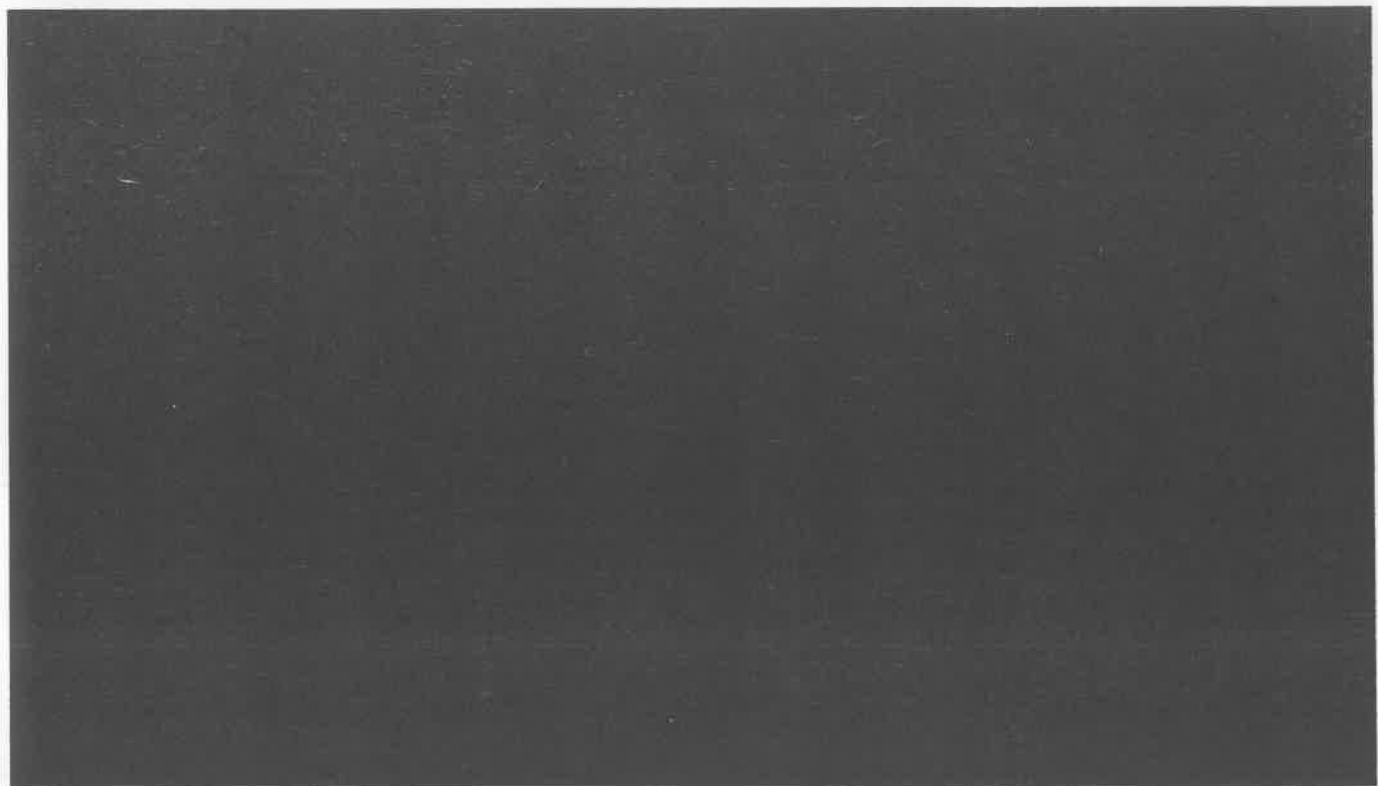


東京都の被害想定を踏まえた 初期消火能力の向上について

東京消防庁
防災部
防災安全課

映像資料 首都被災～木密地域に潜む災害リスク～動画の視聴



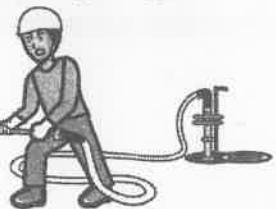
提供：東京都都市整備局

本日の講習内容



知ろう！わがまち 守ろう！わがまち

1 首都直下地震等による東京の被害想定について



2 足立区における被害想定

3 初期消火率の向上について

～自分たちのまちを知ろう！～

4 まちかど防災訓練の実施について

1 首都直下地震等による東京の被害想定報告書より 想定地震



被害量が大きい「都心南部直下地震」と「多摩東部直下地震」を中心に着目



今後30年以内に、70%の高い確率で発生

首都中枢機能への影響と多摩地域への影響が大きい

1 首都直下地震等による東京の被害想定報告書より 被害想定

被害概要（都心南部直下地震／多摩東部直下地震：冬の夕方・風速8m/s）

- ・建物倒壊と火災被害が大きい「都心南部直下地震（冬の夕方・風速8m/s）」において被害量が最大になる。
- ・「多摩東部直下地震」では、震度6強以上の地域が最大となるため、被害量が比較的大きくなる。

	都心南部直下地震	多摩東部直下地震
死者合計	6,148人	4,986人
建物・急傾斜地・ブロック塀・壁外	3,427人	2,852人
屋内収容物	239人	216人
火災	2,482人	1,918人
負傷者合計 (うち重傷者)	93,485人 (13,829人)	81,609人 (11,441人)

死者合計
都心南部直下地震 6,148人 多摩東部直下地震 4,986人

死 者	火災	9,347人 (2,778人)	7,269人 (2,031人)
建 物	建物被害合計	194,431棟	161,516棟
破 壊	全壊津波(振れ・液状化・急傾斜地崩壊)	82,199棟	70,108棟

出火件数
都心南部直下地震 623件 多摩東部直下地震 599件

*各区町村別の被害量詳細は、実勢資料又は東京都HPを参照して下さい。

2 足立区における被害想定 都心南部直下地震

被害概要（都心南部直下地震：冬の夕方・風速8m/s）



死 者

795人

建 物 全 壊 数

11,952棟

負 傷 者

6,684人

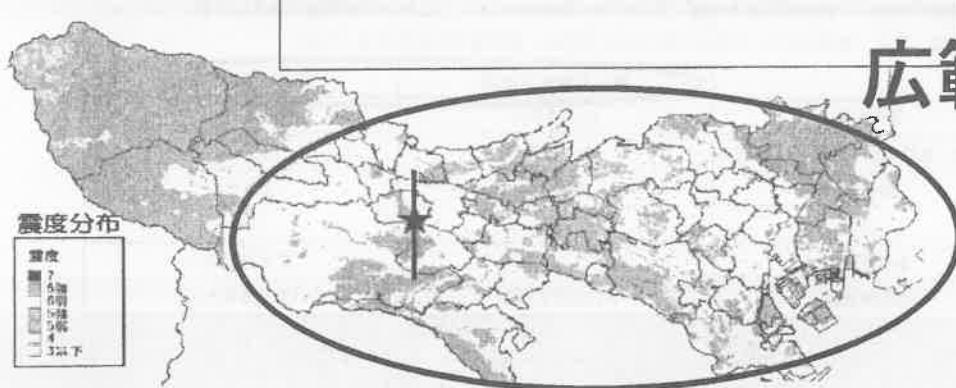
出 火 件 数

59件

焼失棟数 13,546棟

2 足立区における被害想定 多摩東部直下地震

被害概要（多摩東部直下地震：冬の夕方・風速8m/s）



死 者

639人

建 物 全 壊 数

9,936棟

負傷者

7,244人

出 火 件 数

50件

焼失棟数

10,483棟

2 足立区における被害想定

延焼シミュレーションにおける被害想定

続いて、もし皆様の住んでいる地域のどこかで火災が発生し、初期消火活動が実施されなかった場合の延焼シミュレーションを見ていただきます。
その前に、注意点がございます。

※この資料は、地域防災力の向上及び自助、共助意識を促進することを目的として作成したもので、目的外の使用はしないでください。

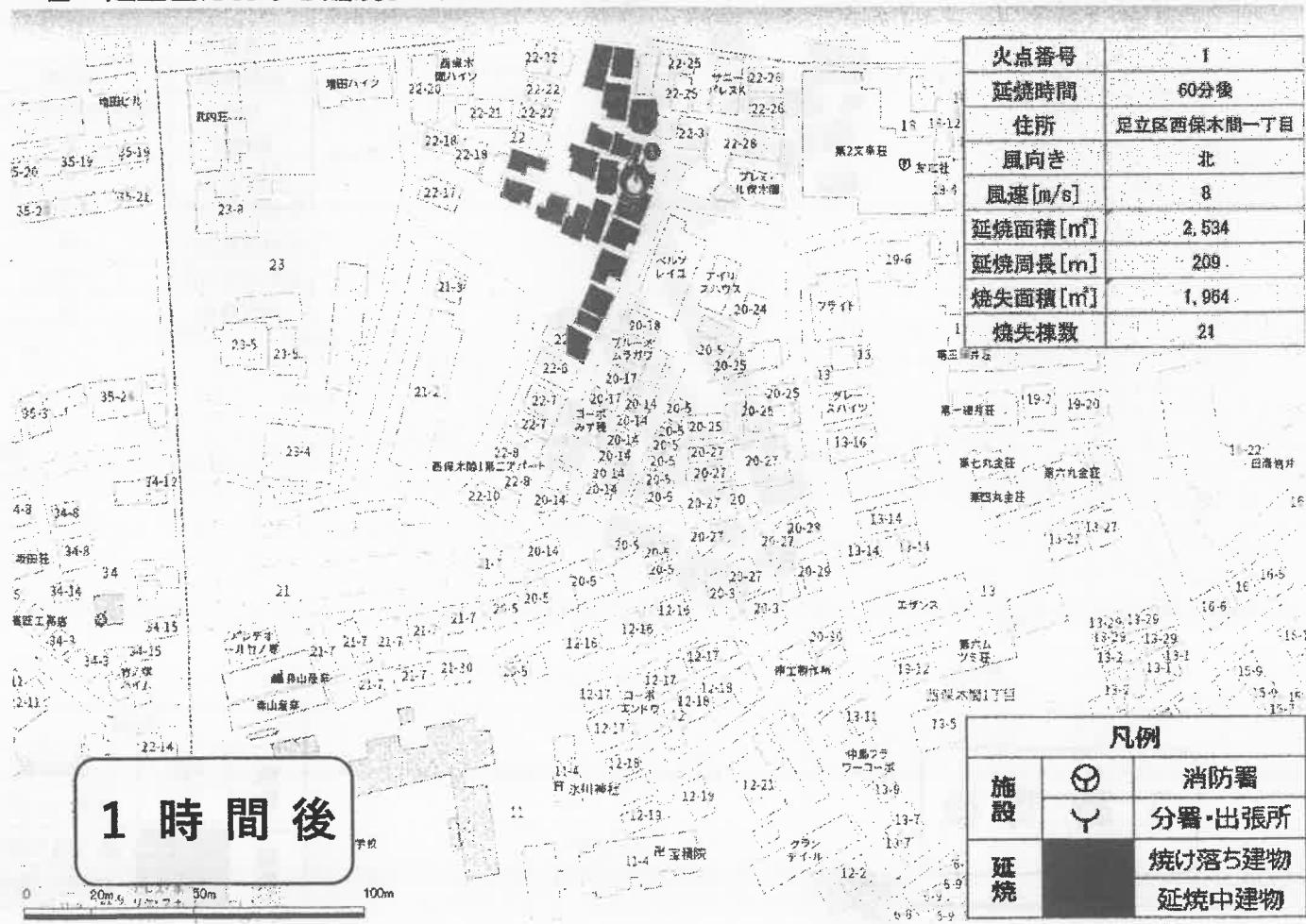
※この画像は、一定条件下での試算結果であり、実際の火災は必ずしも同様の結果となるとは限りません。

※この画像は、他のシミュレーションの結果とは必ずしも一致するとは限りません。

2 足立区における延焼シミュレーション



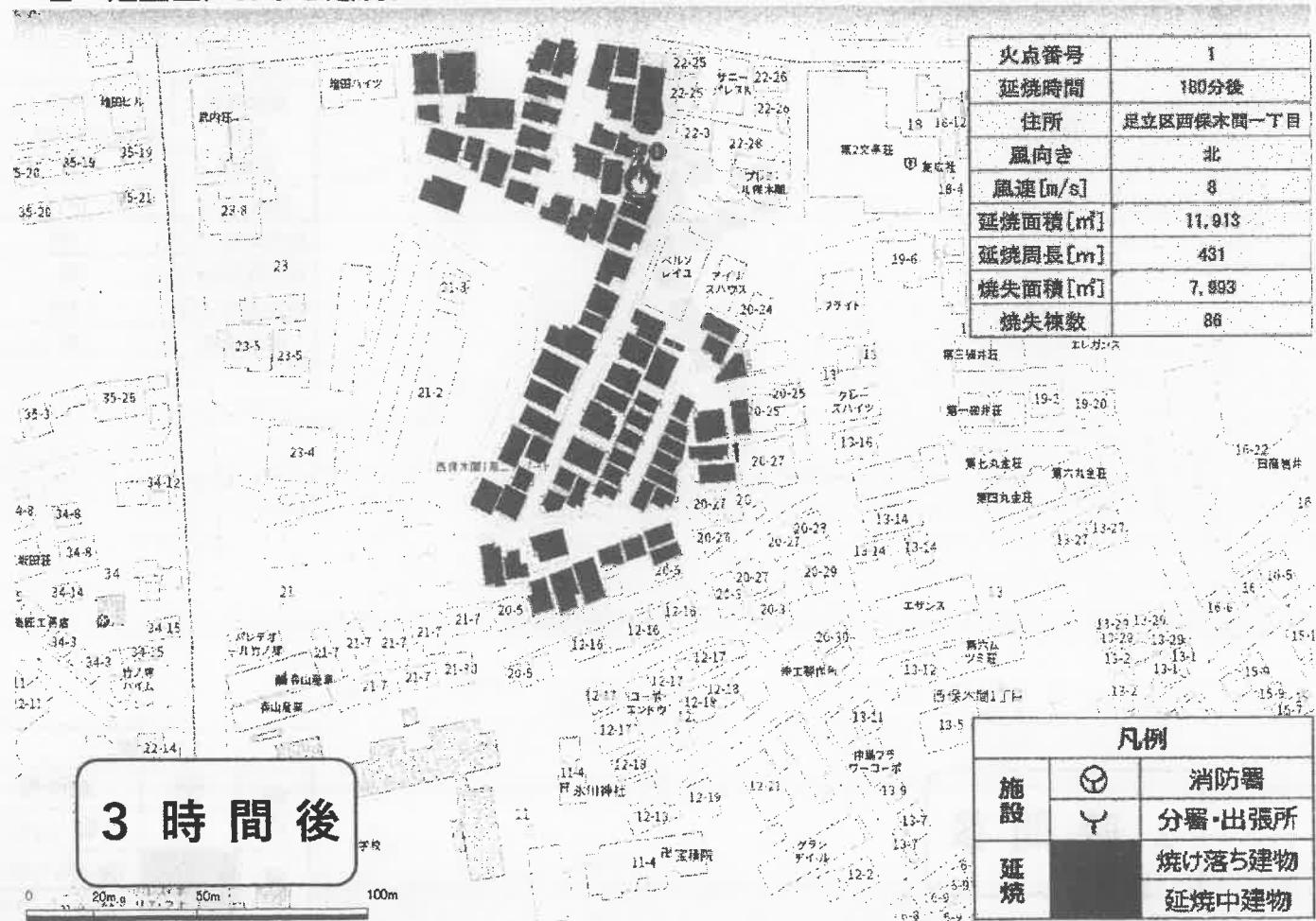
2 足立区における延焼シミュレーション



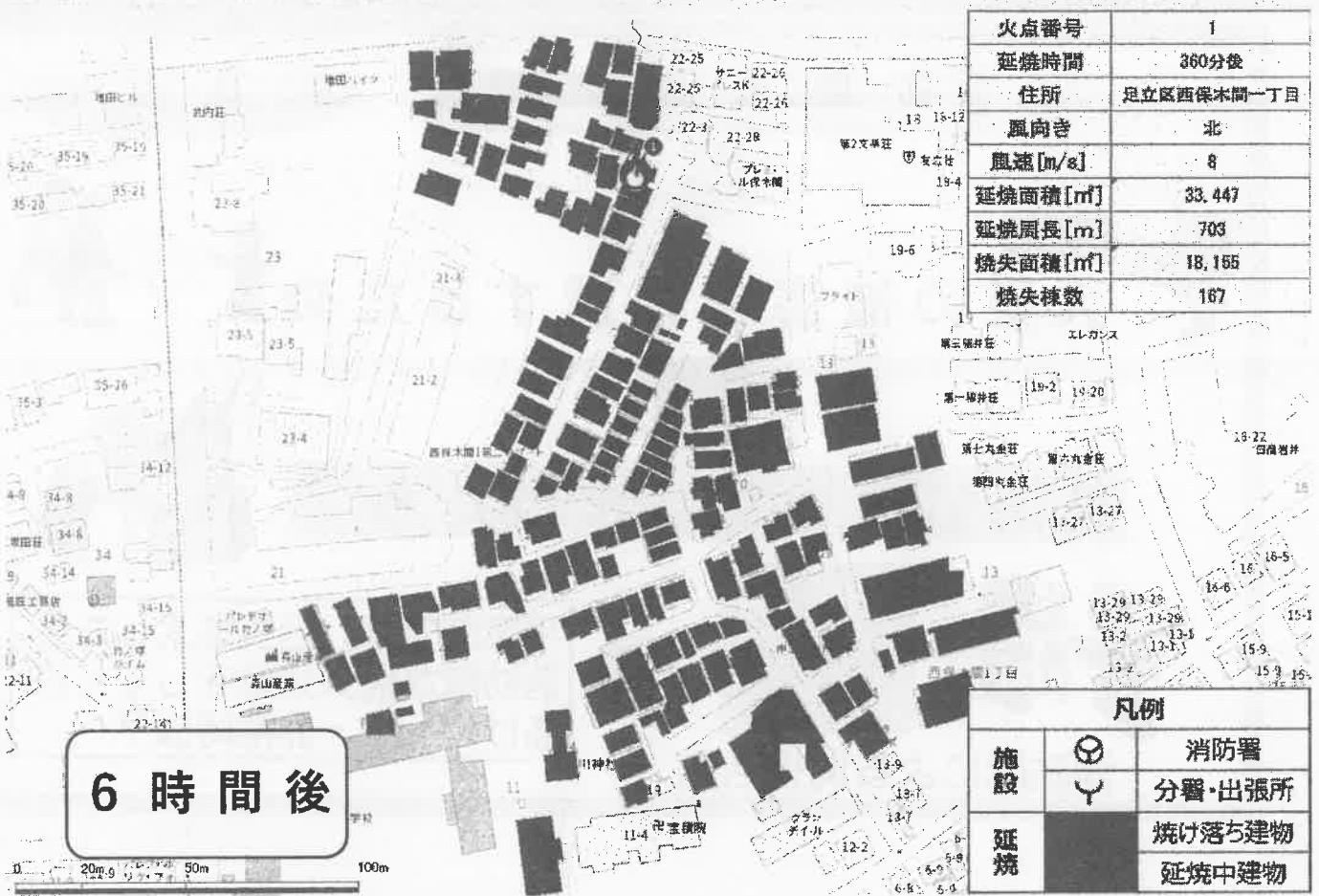
2 足立区における延焼シミュレーション



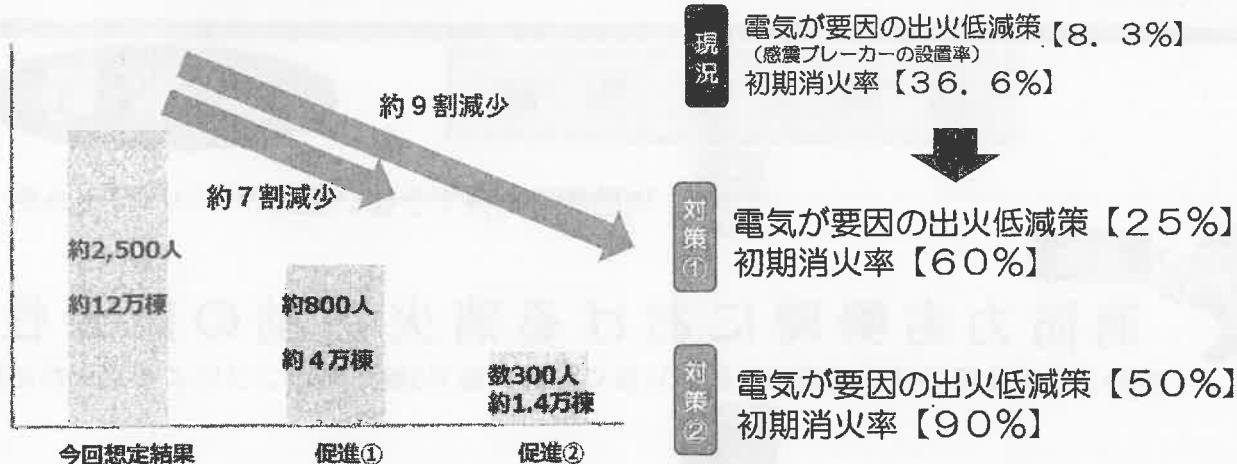
2 足立区における延焼シミュレーション



2 足立区における延焼シミュレーション



3 初期消火率の向上について



「注目すべきポイント」

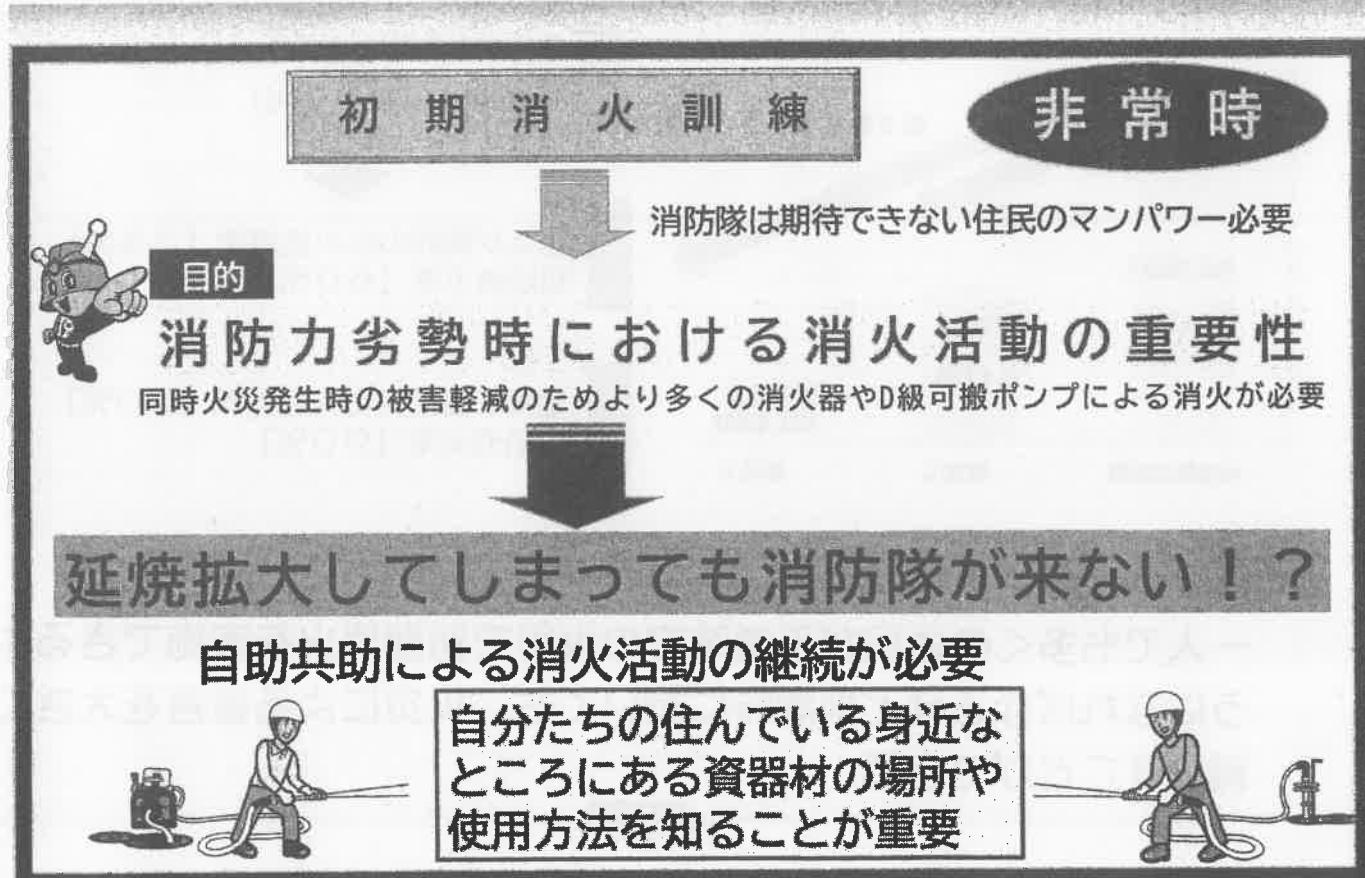
一人でも多くの住民が平常時の火災で初期消火を実施できるようになればなるほど地震時においても、火災による被害を大きく減らすことができる

初期消火率の向上に繋がる！

3 初期消火率の向上について～初期消火訓練の必要性～



3 初期消火率の向上について～初期消火訓練の必要性～



3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの魅力とは？～

まちの魅力

自分たちのまちにどんな魅力があるかチェックしましょう！



3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの課題とは？～

まちの課題

自分たちのまちにどんな危険が潜んでいるかチェックしましょう！



3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの確認方法～

「まちの確認方法」

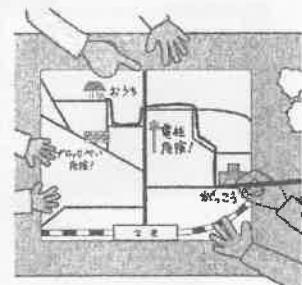
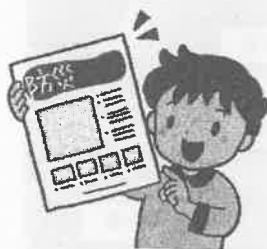
1 仕事や買い物の帰り道などで確認してみる。



2 区のホームページ等の防災マップを確認してみる。



3 既存の防災マップを持って実際に歩いてみたり、情報を書き込んだりしてみる。

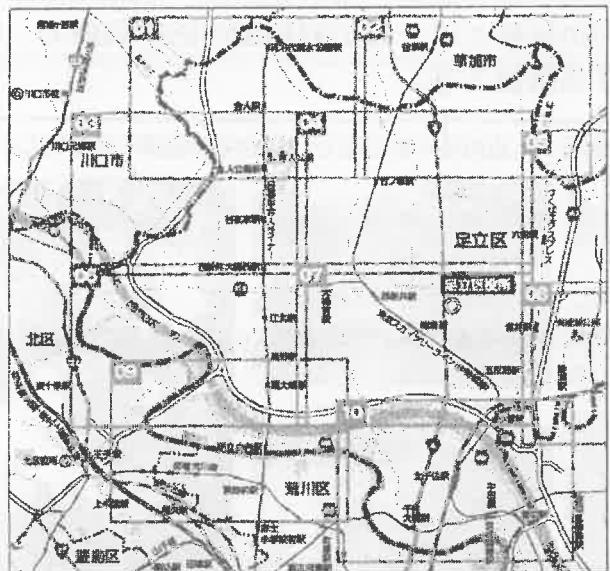


3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの確認方法～



3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの確認方法～

全体索引図



お地図は、スマートフォン対応アプリ「東京防災ナビ」(P.78)で拡大してご覧いただけます。

避難場所

大きな火災から生命を守る目的で、東京都が指定している場所です。

住所単位で指定されており、区内には31カ所の避難場所があります。

第一次避難所

区立の小中学校、公立高校、大学などを指定しています。

近隣の団体・自治会を中心となり開設、運営されます。

第二次避難所(福祉避難所)

第一次避難所での生活が難しい方のため福祉施設、地域学習センターなどを指定しています。

区が施設し、状況に応じ第一次避難所から導導します。

応急給水場・給水所

東京都(水道局)が設備・管理しています。災害等により断水した際に飲料水を確保する施設で、「災害時給水ステーション」として建設されます。建設状況は水道局ホームページ等でご確認ください。



●区ごと、地盤で避難所の建設、運営を行なうため、町会・自治会単位に避難所を指定しています。

●避難所店舗は、緑色線で囲ってあります。緑で囲まれた中にある学校が原則、その地域が該当する避難所です。

●町会・自治会の区域以外の避難所が指定されている場合は青矢印がその町会・自治会が運営する避難所です。

●緑以外の避難所が指定されている場合は、緑色の避難所を示しています。

●一括・複数やブロック、現住所によって避難所が異なる(複数の避難所にまたがる)町会・自治会があります。

●町会・自治会の区域に、複数の避難所がある場合は、各町会・自治会の役員等に避難所を確認してください。

●河川以外であっても、安全な場所をとれる避難所へ避難してください。

確認・緊急時の避難先

避難の流れ

一時集合場所

大きな火災が発生して一時集合場所が危険な場合は、避難場所に避難します。

避難場所

火災が収まったあと、自宅への被災があり、全戻しができない場合は、第一次避難所へ避難します。

第一次避難所

北区・荒川区が第二次避難所を制定し、該当場所を示しています。

第二次避難所

地区内残留地区

市街地大火が発生しない地区で、火災が発生しても地区内の近い避難に避難すれば安全を確保でき、広域的な避難をする必要がないところについて東京都が指定した地区です。

災害備蓄倉庫

投棄時に使用する物品等を備蓄している倉庫。区内に7か所あります。

地図上の直轄場所、避難所、区の施設について
は、令和2年12月1日現在で実績しています。

マップ

足立区役所

- 区内の公共施設など

救急指定医療機関

緊急避難教習所・救急指定医療機関

消防署 ◎ 消防出張所

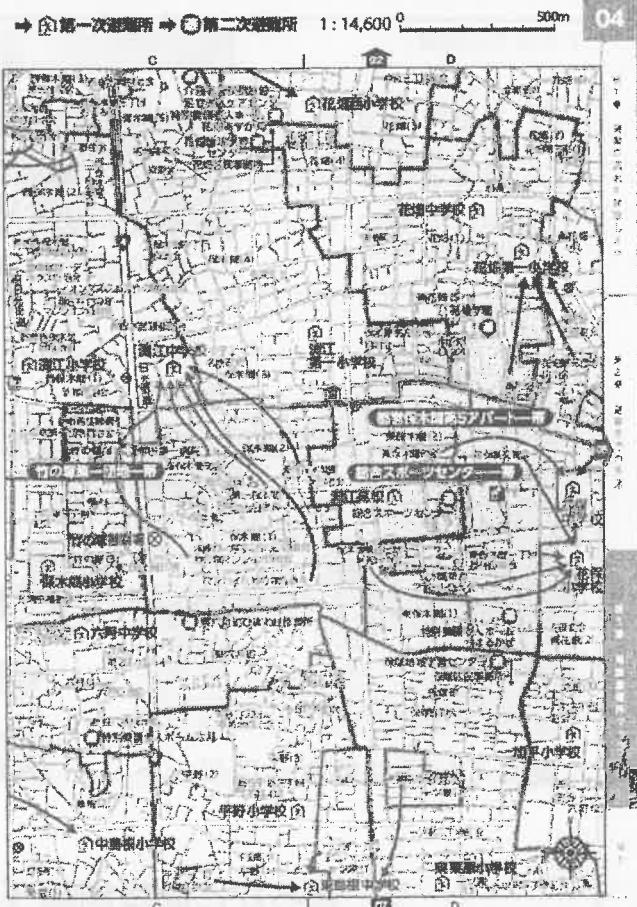
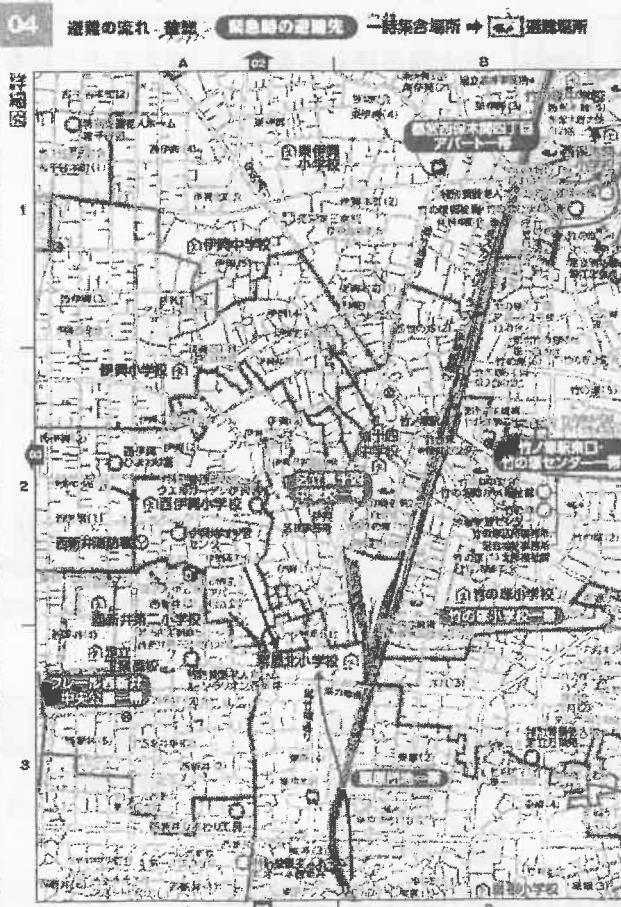
警察署 ◎ 交番・駐在所

公園・緑地・緑道

都県界

荒川・水路

3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの確認方法～



4 まちかど防災訓練の実施について

被害想定を理解して、じぶんたちのまちの資器材を理解できたら次は、まちかど防災訓練を実施していきましょう。まちかど防災訓練とは、発災対応型の防災訓練で、皆さんのまちにある資器材を活用して実施する訓練です。

被害想定結果を把握

資器材や保管場所の確認

・地図で保管場所を確認
・資器材点検
まちの危険度把握

延焼危険度等

まちかど防災訓練の推進

- ・初期消火能力向上
- ・町会等の組織的活動能力の向上

消防士

D級可搬ポンプ等による放水

パケツリレー

まちかど防災訓練（発災対応型防災訓練）のイメージ

消火器を集結しての初期消火

実戦的な初期消火訓練

4 まちかど防災訓練の実施について～初期消火訓練のイメージ～

「今までの訓練」

公園などに集合して防災訓練を実施

→

集合防災訓練

自 助

共 助

→ 消火器の使い方を習い、使えるようになる

↓

自分と家族を守る！

↓

地域で助け合う！

「これからの訓練」

燃えている状態からスタート

→

自分たちのまちにある資器材で対応する

→

ステップアップ

→

街頭消火器など（模擬消火器）

→

D級可搬消防ポンプの活用

→

スタンドパイプの活用

まちかど防災訓練（小規模発災対応型防災訓練）

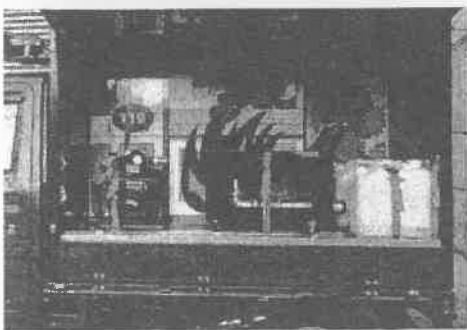
4 まちかど防災訓練の実施について～まちかど防災訓練車の紹介～



まちかど防災訓練をあなたの街にお届け!



- ◆軽トラックベースの小型車で道路の狭い地域にも入れるので、住宅街や小さい公園でも訓練できます。
- ◆タンクに最大200Lの水を積載していますので、消火栓等の水源がないところでも放水訓練ができます。
- ◆訓練に必要な資機材も車両に積んでいます。



D級可搬消防ポンプや模擬消火栓



放水訓練の様子

4 まちかど防災訓練の実施について～まちかど防災訓練車の紹介～



動画：まちかど防災訓練車を活用した放水訓練の様子

おわりに

ご清聴ありがとうございました